

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	スポーツ心理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	406
担 当 教 員	坂田 年彦	実務経験と その関連資格	理学療法士・大学院修士課程修了(スポーツ心理専攻)			
《授業科目における学習内容》						
競技スポーツ・運動学習・健康スポーツ・障がい者スポーツにおける心理的現象を学習し、現場で活用できる基礎力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 授業内課題 2. 期末テスト 3. 出席・平常点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公認スポーツ指導者養成テキスト						
《授業外における学習方法》						
特に運動生理学、バイオメカニクスの領域については、テキスト以外の文献も積極的に活用し理解を深める。また対象別の運動の実際について自主的に調査して模範例や問題例を把握し、対策について考察する習慣をつける。						
《履修に当たっての留意点》						
本科目で履修する内容について、学問的側面のみならず、現場での具体的な活用法を常に考察しながら理解を深める努力をすること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	自己理解を深め、人間関係をスムーズにする術を知る。	教科書	当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	チームビルディング グループにわかれ、「ジョハリの窓」ワークを行う。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団の生産性、チームの発達段階について説明できる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	チームワーク 集団の生産性やチームの発達段階について具体的な事例を交えながら学び、理解を深める。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団の生産性を上げるためには良好な人間関係が重要であることを理解し、ではどうすれば良いかを考える。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	チームビルディング 人間関係における葛藤と意思決定について学び、グループでエクササイズを行う。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	PMリーダーシップ理論、変革型リーダーシップ理論について説明できる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	リーダーシップ リーダーシップ研究の流れを把握し、現在主流になっている変革型リーダーシップ理論について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	なぜ体罰が起こるのか、どのようにすれば防ぐことができるのか自分の考えを明らかにする。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	体罰について考える 体罰のデータを呈示し、問題についてグループディスカッションを行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	優れた実績を誇るコーチが共通してもつ考え方を理解し、実践を試みる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	コーチング スポーツ現場の最前線で、活躍されているコーチの事例を紹介する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	いかに効率よく効果的に運動を習得するか、運動の習熟段階に応じて説明できる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	運動学習 運動習熟のメカニズムを理解し、習熟段階に沿った学習方法やフィードバックの方法を学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	反応時間と運動、予測と運動について、スポーツ場面での具体的な事例を用いて説明できる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	運動制御 運動の情報処理モデル、ヒックの法則、サイモン効果について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	トランスセオレティカルモデルに基づき、運動を継続するための方策を考えることができる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	健康と運動 運動がもたらす心理的な恩恵についてデータを呈示する。その上で運動を継続するための行動変容モデルを学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	バーンアウトの過程と、陥りやすい選手の特徴を説明できる。未然に防ぐ方策を考えることができる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	バーンアウト あるマラソンランナーの事例を見ながら、進行プロセスを学ぶ。未然に防ぐ方法についてグループディスカッションを行う。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	女性アスリートの問題を理解し、指導者が注意すべき点を述べることができる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	女性のからだとスポーツ 三主徴、月経とコンディション、女性アスリートのキャリアについて学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストレスと怪我の関係を理解している。怪我を負った選手の心理的変容過程を説明できる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	スポーツ傷害(障がい)と心 怪我の発生と心理的要因の関係、受傷後の心理的変容過程について学び、怪我の心理的意味についてグループディスカッションを行う。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツがリハビリテーションに取り入れられた歴史を知り、パラリンピックまでの軌跡をたどることができる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションからアダプテッドスポーツへ アダプテッドスポーツの社会的背景を学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮膚に触れることを通して、クライアントとの良好な信頼関係の築き方を知る。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	皮膚にふれる、心にふれる 身体知について理解し、皮膚のもつ機能について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	本講義内容について、要点を理解した上で説明ができるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	総合演習を行い、講義内容の理解度を測る。		